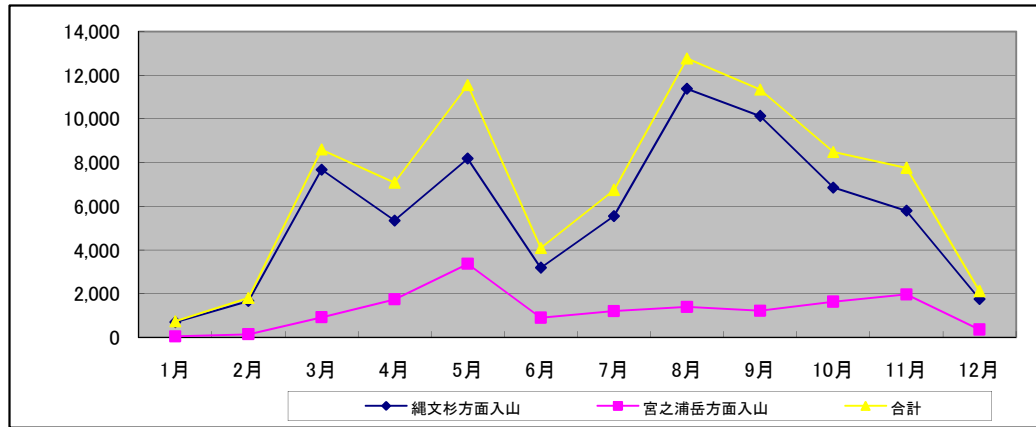


平成19年の屋久島主要山岳部の利用動向把握(カウンター)調査について

1. 平成19年利用動向データ(カウンターデータ)



平成19年(2007)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
縄文杉方面入山	692	1,658	7,679	5,344	8,181	3,186	5,548	11,374	10,128	6,858	5,797	1,759	68,204
宮之浦岳方面入山	40	139	917	1,736	3,363	900	1,198	1,391	1,215	1,628	1,959	353	14,839
合計	732	1,797	8,596	7,080	11,544	4,086	6,746	12,765	11,343	8,486	7,756	2,112	83,043
入島者数 (種子屋久観光連絡協議会調べ)	16,059	19,432	35,402	33,638	39,323	26,585	34,285	53,690	42,193	39,299	34,616	20,270	394,792
入島者数に対する 入山者の割合	4.6%	9.2%	24.3%	21.0%	29.4%	15.4%	19.7%	23.8%	26.9%	21.6%	22.4%	10.4%	21.0%

※赤字の箇所は2/14~3/23の期間に工事があり、工事関係者の通行があったため補正を加えた推定値。

<入山が集中した月>

- ・ 縄文杉方面入山で最も多かったのが、8月の11,374人。ついで9月の10,128人、5月の8,181人。
- ・ 宮之浦岳方面入山で最も多かったのが、5月の3,363人。ついで11月の1,959人、4月の1,736人。

<入島者数に対する入山者数の割合が多い月>

- ・ 入島者数に対する入山者数の割合がもっとも多かったのが、5月の29.4%。ついで9月の26.9%、8月の24.3%。

<年間データ欠測率(平成19年1月~12月(365日間))>

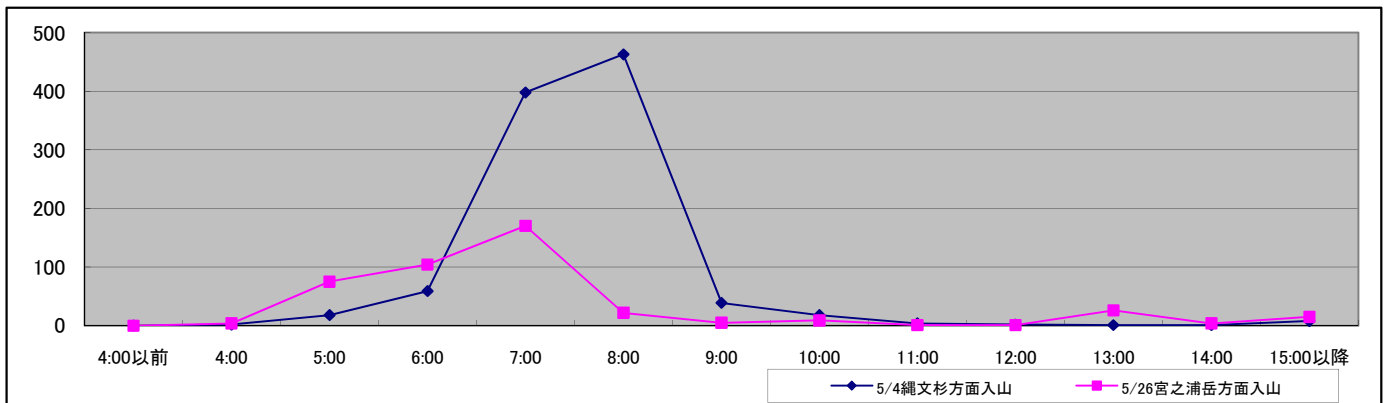
- ・ 縄文杉方面入山のデータ欠測率は10.4%(38日/365日)。
- ・ 宮之浦岳方面入山のデータ欠測率は0%(0日/365日)。

<入山が集中した日上位10日>

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
縄文杉方面入山	月日	5/4(金)	5/2(水)	10/7(日)	9/23(日)	4/30(月)	4/29(日)	5/1(火)	5/5(土)	11/24(土)	8/14(火)
	人数	1013	670	635	598	581	578	555	543	515	510
宮之浦岳方面入山	月日	5/26(土)	5/4(金)	4/29(日)	5/3(木)	11/17(土)	5/2(水)	11/2(金)	5/27(日)	6/9(土)	4/20(金)
	人数	436	323	251	251	216	210	151	133	129	128

※土日祝祭日は赤字表示。

<縄文杉方面入山が最も集中した5月4日(金)と宮之浦岳方面入山が最も集中した5月26日(土)の時間帯別利用動向>



	4:00以前	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00以降
5/4縄文杉方面入山	0	2	18	59	398	463	39	18	4	2	1	1	8
5/26宮之浦岳方面入山	0	4	75	104	170	22	5	9	1	1	26	4	15

※各カウンターを通過した時間帯のデータ。縄文杉方面入山カウンターは荒川登山口入山から約1時間の所でカウント。

- ・ 1年間で最も入山が集中したのは、縄文杉方面入山:1013人{5/4(金)}、宮之浦岳方面入山:436人{5/26(土)}。
- ・ 5/4(金)の縄文杉方面への入山は、7:00~8:00に集中。

2. 平成19年まとめ

- ・ 主要山岳部への入山者は5月（GW）と8～9月（夏休み）に集中。
- ・ 宮之浦岳方面入山 が最も多かった5/26（土）は、屋久島観光協会主催「しゃくなげ登山」（参加者数151名）のイベントがあったためと思われる。
- ・ 9月以降も入山者が多いのは、団体ツアーが増えるとともに、台風の接近がないなど天候の良い日が続いたことが主な理由と思われる。
- ・ 主要山岳部の利用動向は気象による直接的、また間接的（各交通機関の欠航等）影響を受けやすいといえますが、平成19年は、
 - ① 特に利用動向の集中した5月（GW）と8～9月（夏休み）にほとんど警報は出ていない。
 - ② 年間を通して各交通機関の欠航便が少ない。
 以上のことから、年間を通じて多くの入山者があった年といえます。

3. 参考データ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
気象データ (気象庁屋久島測候所調べ)	6日:D 7日:CD	警報なし	10日:AB	警報なし	6日:AB 16日:AB	17日:A 19日:AB 23日:AB 26日:AB	8日:AB 11日:AB 12日:A 13日:ABCD 14日:ABCD 15日:ACD	2日:D	警報なし	警報なし	6日:AB	22日:AB

※A=大雨警報、B=洪水警報、C=暴風警報、D=波浪警報

- ・ 大雨警報の基準が山岳部県道の通行止めの基準と近い事も含め、各警報は入山者の登山目安となり、主要山岳部の利用動向に影響を与えると考えられるため、警報を気象データに採用しています。

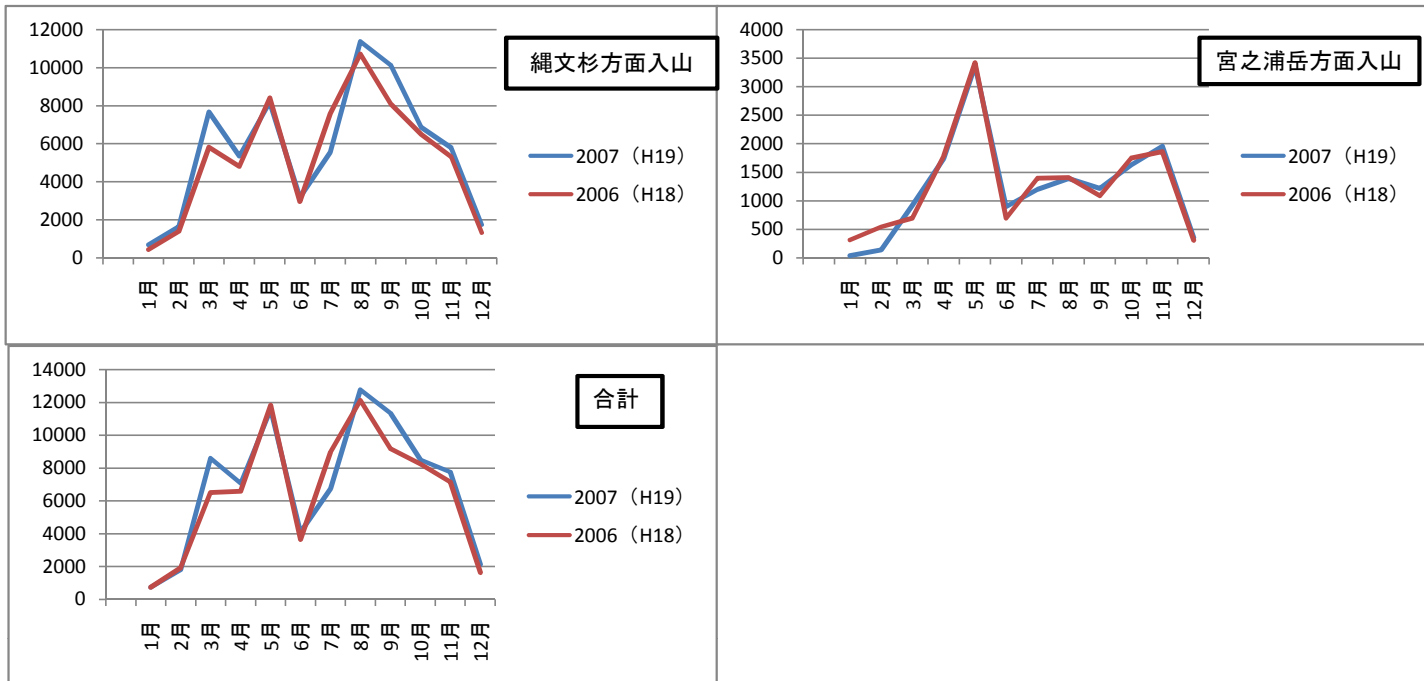
各交通機関の就航率 (各交通機関調べ)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
JAC	97.4%	96.4%	92.7%	94.8%	94.5%	92.0%	89.0%	96.4%	93.3%	99.4%	95.4%	97.0%
トッピー(宮之浦港発着)	96.2%	98.8%	96.3%	97.2%	100.0%	100.0%	92.5%	96.7%	99.5%	100.0%	100.0%	94.7%
トッピー(安房港発着)	96.0%	98.2%	96.7%	97.5%	100.0%	100.0%	93.5%	96.6%	100.0%	100.0%	100.0%	94.3%
ロケット	96.8%	94.6%	94.6%	95.6%	97.1%	100.0%	86.7%	95.7%	98.9%	100.0%	97.4%	89.4%
フェリー屋久島2	93.1%	100.0%	96.8%	96.7%	100.0%	96.7%	90.3%	96.8%	96.3%	100.0%	96.4%	93.5%
フェリーハイビスカス	96.8%	100.0%	96.8%	100.0%	100.0%	96.7%	61.3%	93.5%	93.3%	96.6%	100.0%	90.3%

- ・ 7月のフェリーハイビスカスの就航率が低い値となっているのは、台風前後の高波のため。

4. 平成18年との比較

<入山者数>

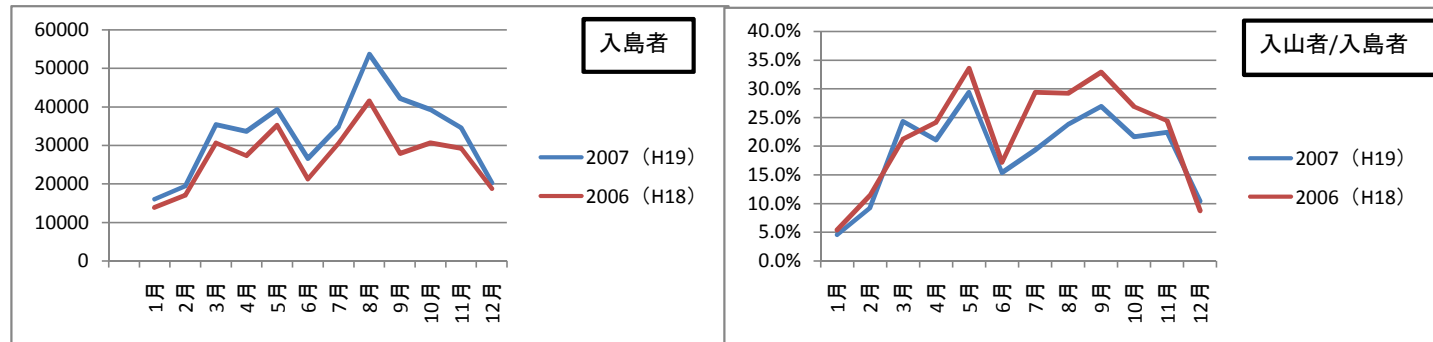
縄文杉方面入山	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2007(H19)	692	1,658	7,679	5,344	8,181	3,186	5,548	11,374	10,128	6,858	5,797	1,759	68,204
2006(H18)	430	1,392	5,804	4,810	8,396	2,952	7,580	10,707	8,079	6,480	5,283	1,324	63,237
宮之浦岳方面入山													
2007(H19)	40	139	917	1,736	3,363	900	1,198	1,391	1,215	1,628	1,959	353	14,839
2006(H18)	318	547	697	1,785	3,418	698	1,399	1,408	1,088	1,752	1,860	311	15,281
合計													
2007(H19)	732	1,797	8,596	7,080	11,544	4,086	6,746	12,765	11,343	8,486	7,756	2,112	83,043
2006(H18)	748	1,939	6,501	6,595	11,814	3,650	8,979	12,115	9,167	8,232	7,143	1,635	78,518



・平成18年と比較して、平成19年の総入山者数は約5千人多いが、縄文杉方面・宮之浦岳方面とも、一年をとおした傾向はほぼ同じである。

<入島者数>

入島者数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2007(H19)	16,059	19,432	35,402	33,638	39,323	26,585	34,885	53,690	42,193	39,299	34,616	20,270	395,392
2006(H18)	13,886	17,020	30,603	27,335	35,185	21,253	30,545	41,487	27,874	30,621	29,260	18,771	323,840
入山者/入島者													
2007(H19)	4.6%	9.2%	24.3%	21.0%	29.4%	15.4%	19.3%	23.8%	26.9%	21.6%	22.4%	10.4%	21.0%
2006(H18)	5.4%	11.4%	21.2%	24.1%	33.6%	17.2%	29.4%	29.2%	32.9%	26.9%	24.4%	8.7%	24.2%



- ・平成18年と比較して、平成19年の入島傾向はほぼ同じであるが、入島者数は約7万人増加。
- ・平成18年と比較して、TV等に取り上げられる回数が多かったこと、高速船の料金が大幅に下げられた影響ではないか、と思われる。
- ・平成18年と比較して、平成19年は入島者に対する入山者の割合は3.2%低かったが、一年をとおした傾向はほぼ同じである。
- ・特に平成19年7月の入島者に対する入山者の割合が低いのは、台風4号の影響により、町道荒川谷線が決壊したためと思われる。7/15から全面通行止めとなり、7/24から11月末までシャトルバスが運行された。
- ・また、高速船の料金が大幅に下げられたことにより島民の利用が増え、その結果、平成19年は入島者に対する入山者の割合が低くなったことも考えられる。